

名古屋大学を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが晴れてこの日を迎えることができ、総長として大変うれしく思います。皆さんの卒業を心からお祝いするとともに、慶びを分かち合いたいと思います。また、今日まで皆さんを支えてくださったご家族や関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染が世界的に広がっており、私たちの生活と社会全体に深刻な影響を及ぼしています。わが国においても現在、国を挙げて感染の拡大阻止と感染患者さんの治療にあたっているところですが、愛知県と名古屋市においても徐々に感染が拡大しています。名古屋大学としても積極的に感染拡大防止に取り組む必要があると考え、卒業式を中止することにいたしました。卒業式は、学生やご家族はもとより、熱心に指導にあたっていただいた教員をはじめ全構成員にとって、大切な行事です。卒業式を中止することは、大学にとっても苦渋の決断ではありますが、卒業生並びに関係者の皆様には、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。皆さんには、卒業式で直接お話しすることは叶いませんが、名古屋大学総長としてお祝いと激励の言葉を贈ります。

現在、学内各所に総長から卒業生に送る言葉として、「祝卒業。勇気ある知識人として、輝く未来を創造しよう」、というポスターを掲示しています。皆さんの旅立ちの日にあたり、名古屋大学の人材育成目標である「勇気ある知識人」について、お話ししたいと思います。創立 80 年を迎える名古屋大学は、20 年前の西暦 2000 年に、「名古屋大学学術憲章」を定めました。学術憲章については、教職員や学生の皆さんには時に触れてお話し、また皆さん自身が名古屋大学の一員として、ぜひ読んでいただきたいと呼びかけてきました。名大憲章の前文の中に、「名古屋大学は、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する」、と謳っています。人々の幸福に貢献するという高い志を掲げ、様々な領域の学問を融合することによって高度な研究と教育を実現することを、名古屋大学の活動の大目標として掲げているのです。このような高い志を基に、人材育成の目標としては「自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる」ことを宣言しています。私はこの名古屋大学学術憲章には、まさに大学に求められる教育研究の基本的な理念がしっかりと包含されており、時代を超えて、名古屋大学が育てるべき人材像について明確に示しています。

卒業生の皆さんは希望に燃えて名古屋大学に入学した時のことを、昨日のこのように覚えていることと思います。皆さんの夢や希望は、名大キャンパスでの様々な活動を通じて、より具体的なものになったでしょうか。皆さんが名古屋大学入学時に持っていたこれからの人生への夢や憧れが、名古屋大学での学修や研究、そして課外活動などを通じて、より具体的なものになったでしょうか。そして、その目標に向かって、皆さんが自分自身の資質を磨くことができたでしょうか。もし皆さんが自信をもって、できた、と言えるようであれば、私にとってこれ以上の喜びはありません。名古屋大学で育んだ「勇気ある知識人」の芽を、大きく花開かせていただくことを切望します。

今、地球全体を俯瞰してみると、人類社会が直面している課題がたくさんあり、年々その深刻さを増していることがわかります。誰一人とり残さず人類が幸福になり、持続的な発展が可能な世界を実現するた

めに、国連は解決すべき課題と目標を SDGs として提唱し、国や地域、人種を越えて解決のための連携を呼び掛けています。名古屋大学の学術憲章はまさに、その様な全人類的な目標に合致するものであり、名古屋大学が世界に誇れるものであると思っています。人類の未来を、我々が描く理想とは正反対のディストピアにしないためにも、名古屋大学を卒業する皆さんは、世界中の人々と手を組んで、我々人類が直面している課題解決に果敢に挑戦していただきたいと思います。大学での学修では、専門性と共に幅広い基礎的な力を身につけることであり、皆さんはしっかりと学んだことと思います。卒業してから皆さんが直面する課題は応用問題といってよいかもしれません。応用問題を解くためには高い専門性ととも、基礎的な力として、俯瞰力、連携力、コミュニケーション力、そしてリーダーシップが必要です。失敗を恐れず、人類の幸福と社会の持続的発展に貢献する人材として、名古屋大学で学んだことを基盤にして、大きく育つことを心から期待しています。

私は総長に就任した 2015 年以来、現代社会において人類が直面している課題に勇気をもって立ち向かい、それを克服してゆくことの重要性を、繰り返し話してきました。現代社会の最大の特徴として、デジタル革命が挙げられます。あらゆる情報がデジタル化され、インターネットなどを通じて膨大な量の情報が集積され、AI などによる分析を通じて実世界の課題解決の方策を提起し、新しい価値が創造されます。そして今後、人類社会はあらゆる面で、これまで経験したことの無い規模とスピードで劇的に変化してゆくと言われます。ドイツから始まったインダストリー4.0 はまさにその先駆けであり、世界経済フォーラムで提唱された第 4 次産業革命やわが国が推し進めようとしているソサイエティ5.0 も同じ概念の上にあるといえます。このような変化は人類社会を一層豊かにし幸福な社会を実現することに大きく貢献するという考え方がある一方で、人々は AI に監視され、様々な格差が拡大し、経済や科学技術の覇権争いが一層激化し、社会が不安定になる、というディストピア的な懸念も、多くの人から提起されています。人類が直面する数多くの課題の中でも、環境問題は極めて深刻です。すでに我々が日常の生活の中ではっきりと異常を感じるほどになっていますが、このままでは人類社会は、そう遠くない未来に、今とは比べものにならないような甚大な影響を受けることは必至です。私たちは高い志のもと、諸科学と叡智を総動員して克服してゆく必要があります。

●人類の長い歴史を見てみると、私たちは、着実に進歩の道を歩んできました。現代社会における諸課題が、現段階における人類の進歩の負の側面であるとすれば、それらを解決することにより、一層豊かな社会を実現できると思います。心理学者のスティーブン・ピンカー氏はその著作、「21 世紀の啓蒙」という本の中で、人類が特に 18 世紀以降の活動の中で培ってきた、時代を超越する理念が、今まさにこの時代にあって、かつてなく重要になっている、と書いています。その理念とは、理性、科学、ヒューマニズムそして進歩であります。そして革新を恐れず、批判精神に根差した知る勇気を持つことで、我々はいかなる問題も解決できる、と書いています。私は、学術の府であり多様な英知が集積する名古屋大学が、果敢にこれらの課題に挑み、課題解決の方策を見出し、様々なステークホルダーと協力しながらその解決に向けて果敢に挑んでゆくこと、また、その様なマインドをもって名古屋大学で育った人材が、社会で活躍して高く評価されることを強く期待しています。名古屋大学の教職員と学生、そして卒業生は、高い志をもって、課題解決に貢献する責任があると考えています。皆さんのこれからの長い人生の中で、このような基本的な考え方やマインドセットは極めて重要だと思っています。皆さん一人ひとりが多様な形で「勇気ある知識人」として、大きく成長することを期待します。

わが国はもう一つの大きな課題を抱えています。それは言うまでもなく少子高齢化の問題です。わが国では高齢化が急速に進んでおり、総人口の減少、特に労働生産年齢人口と若年人口の急激な減少により、将来に大きな不安を抱えています。しかしこの問題は長い時間軸で見れば、世界的に共通する課題であり、わが国で先行している社会の超高齢化は、遅かれ早かれ、今後世界の多くの国で起きると推測されています。しかもそのスピードはわが国が経験したものより、ずっと速いと考えられています。少子高齢化という難題を抱え課題先進国と言われている日本が、今後、衰退途上国になるのか、逆に課題解決先進国になるのか、大きな分かれ目の時代に生きているとあってよいでしょう。人口減少対策総合研究所・理事長の河合雅司さんは中央公論の対談の中で、「日本は地球のタイムマシンである」、と言っています。大げさに言えば、日本は課題先進国として、輝かしい未来を創ることができるのか、世界中から注目されていると思います。即ち、わが国が将来、すべての国民が幸福な生活を送り、人類社会の持続的な発展にも貢献していける国であるために、どのようなチャレンジをするのか、また学問の府である国立大学やそこで育った人材がどのような役割を果たすのか、世界が注目しているわけであります。

このような大きな変化の時代にあって、名古屋大学には、人類社会の未来を切り拓く人材の育成や多様で先進的な研究活動により、社会に対してこれまでとは違う質とスケールで貢献できるように改革を続けること、そして、自ら新しい時代に相応しい大学の創造にチャレンジすること、が求められています。このことは同時に、卒業生も含め、すべての名古屋大学構成員や同窓生にも言えることでもあります。わが国で初となる国立大学法人統合による東海国立大学機構は、まさにその心意気を示すものであります。名古屋大学は志を同じくする岐阜大学と法人統合して新しい国立大学法人「東海国立大学機構」を設置し、そのもとで名古屋大学として、新しいチャレンジを開始します。卒業してゆく皆さんの誇りになるような改革を進めて行きたいと思えます。

本日、皆さんは名古屋大学を卒業します。これから新しい人生を歩んでゆく皆さんには、ぜひ、生涯にわたり、名古屋大学の同窓生であるという誇りをもって、一人ひとりが「勇気ある知識人」として活躍してくれることを祈っています。名古屋大学同窓生のネットワークは世界に広がっています。皆さんもその一員として、一人ひとりの人生を充実したものにしてください。

以上、私からのお祝いと激励の言葉といたします。本日はご卒業、まことにおめでとうございます。